



少しずつ気温の低い日が多くなり、冬の気配を感じる季節になってきました。そして、インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症の流行シーズンがやってきます。今三小では10月に「マイコプラズマ感染症」が流行しました。咳が長引いたり、高熱が続いたりする場合はご注意ください。今後も様々な感染症の流行が続いていくと思われますので、引き続きお子様の体調管理と登校前の健康観察をお願いします。

●日光市では学校感染症で学校をお休みし、再登校する際は、保護者記入の「登園・登校届」の提出をお願いします。日光市のHP(学校教育)または、本校HP(各種様式)からもダウンロードできます。学校にも用紙がありますので、ご不明な点は学校までお問合せください。

マイコプラズマ感染症が流行しています！

10月末現在、今三小では全学年で合計30名の、り患報告がありました。マイコプラズマ感染症にり患した場合、出席停止扱いになります。医師からマイコプラズマの診断を受け休養し、登校許可となった場合、インフルエンザや新型コロナと同様、保護者記入の「登園・登校届」の提出をお願いしています。(R6.11より)

マイコプラズマ感染症って??

日本学校保健会：感染症の解説より

咳を主症状とし学童以降の細菌性肺炎としてはもっとも多い。夏から秋にかけてが多く、家庭内感染や再感染も多くみられる。5歳以上で10～15歳頃に好発するが、成人もり患する。

【病原体】 肺炎マイコプラズマ 【潜伏期間】 主に2～3週間(1～4週間)

【感染経路】 飛沫・接触感染 症状のある間がピーク 保菌は数週間～数か月持続

【症状・予後】 咳・発熱、頭痛等のかぜ症状がゆっくりと進行し、特に咳は徐々に激しくなる。しつこい咳が3～4週間持続する場合もある。中耳炎・鼓膜炎や発しんを伴うこともあり、重症例では呼吸困難になることもある。治療は適切な抗菌薬で行う。

【予防・ワクチン】 飛沫感染として一般的な予防法を励行する。ワクチンはない。

【登校基準】 症状が改善し、全身状態の良い者(発熱や激しい咳が治まっている)※

※医師の指示に従ってください。

咳症状がある場合は、咳エチケットとしてマスクの着用をお願いします！



日光市内でもインフルエンザや新型コロナが流行し始めています！

インフルエンザの出席停止期間の基準

発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児は3日)を経過するまで出席停止となります。



新型コロナウイルス感染症の出席停止期間の基準

発症した後5日を経過し、かつ、症状軽快後1日を経過するまで出席停止となります。

「症状が軽快」とは、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ呼吸器症状が改善傾向にあることです。



注意:出席停止期間の起点となる発症日は医師が判断しますので、受診時に確認をお願いします。インフルエンザも新型コロナも、回復がいくら早くても、最短で発症後5日間の出席停止期間が必要です！薬の効果で熱が下がっても、感染力は暫く残ります。基準に従い、感染力が弱まるまで登校を控え、まん延を防ぐご協力をお願いします。

